

知的財産(活動)による 事業貢献の見える化に向けて

旭化成株式会社
知的財産・研究基盤部
林 善夫

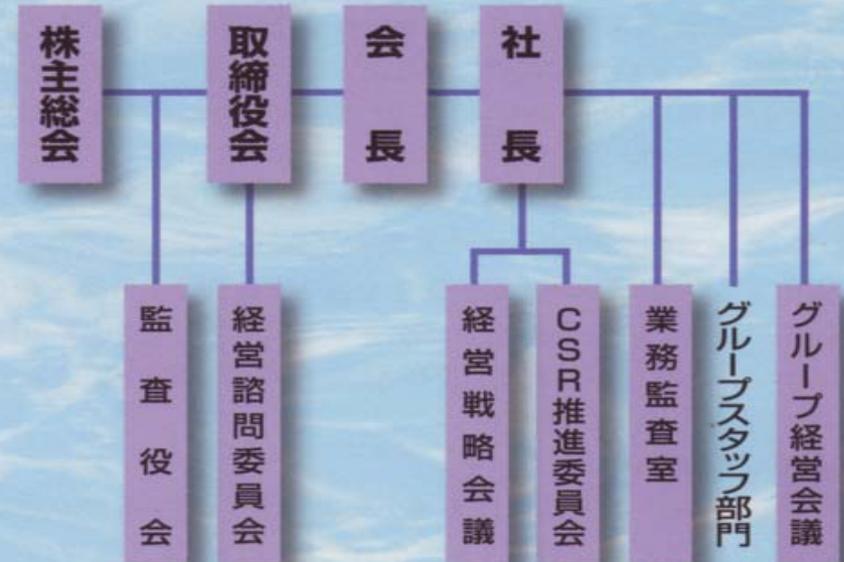
Part 1

旭化成の企業概要

旭化成株式会社

- 本社所在地: 東京都千代田区有楽町1-1-2
- 代表者: 代表取締役社長 蛭田 史郎
- 設立: 1931年5月21日
- 資本金: 103,389百万円
- 総資産: 1,270,057百万円(連結)
- 従業員数: 23,820人(連結)

旭化成グループの経営体制



旭化成せんい株式会社



旭化成ケミカルズ株式会社



旭化成ライフ&リビング株式会社



旭化成建材株式会社



旭化成ホームズ株式会社



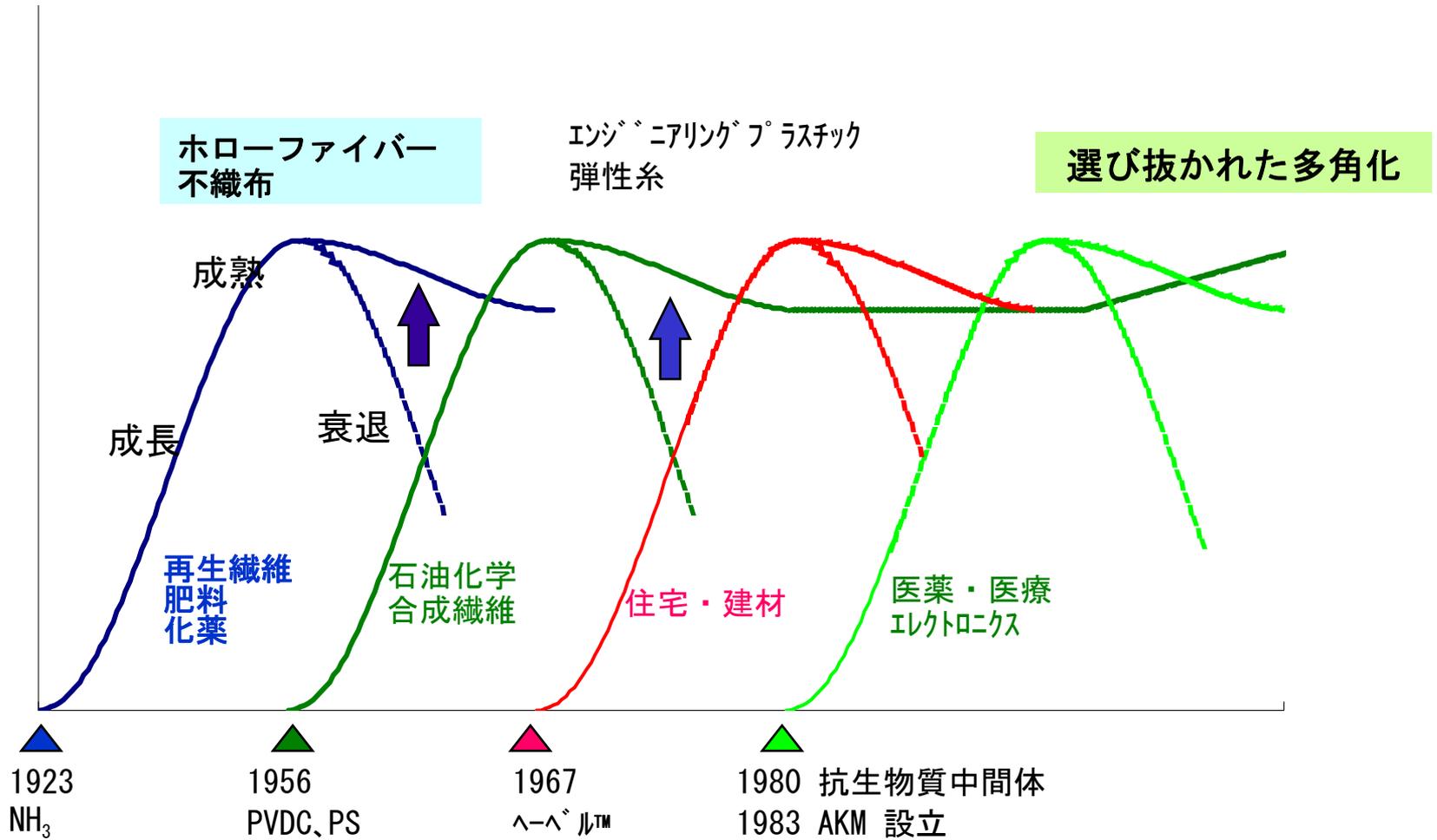
旭化成エレクトロニクス株式会社



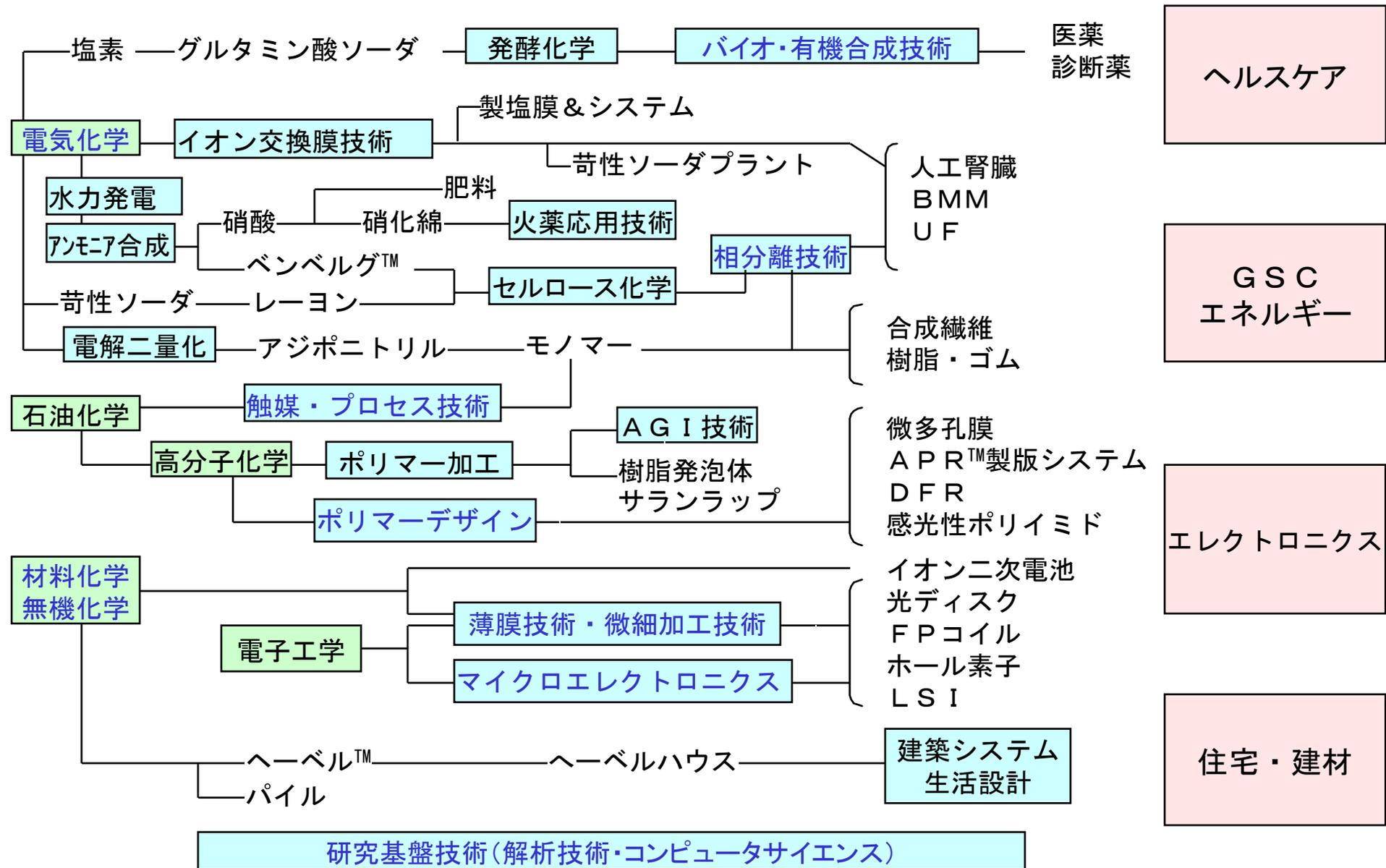
旭化成ファーマ株式会社



コア事業の変遷



技術系譜



Growth Action – 2010 の概要

ISHIN2000
(1999-2002)

選択と集中

負の遺産の整理

ISHIN-05
(2003-2005)

選び抜かれた
多角化

キャッシュフローを稼ぐ

Growth Action – 2010
(2006-2010年度)

拡大・成長への
事業ポートフォリオ転換

戦略投資の実行

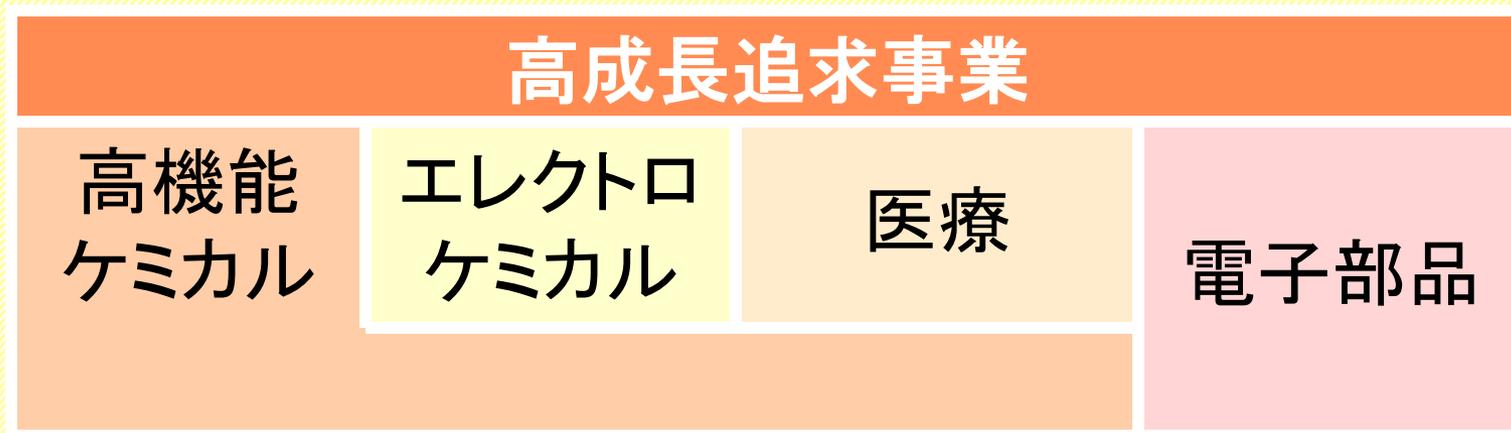
成長への
ギアチェンジ

グローバル型事業の
拡大

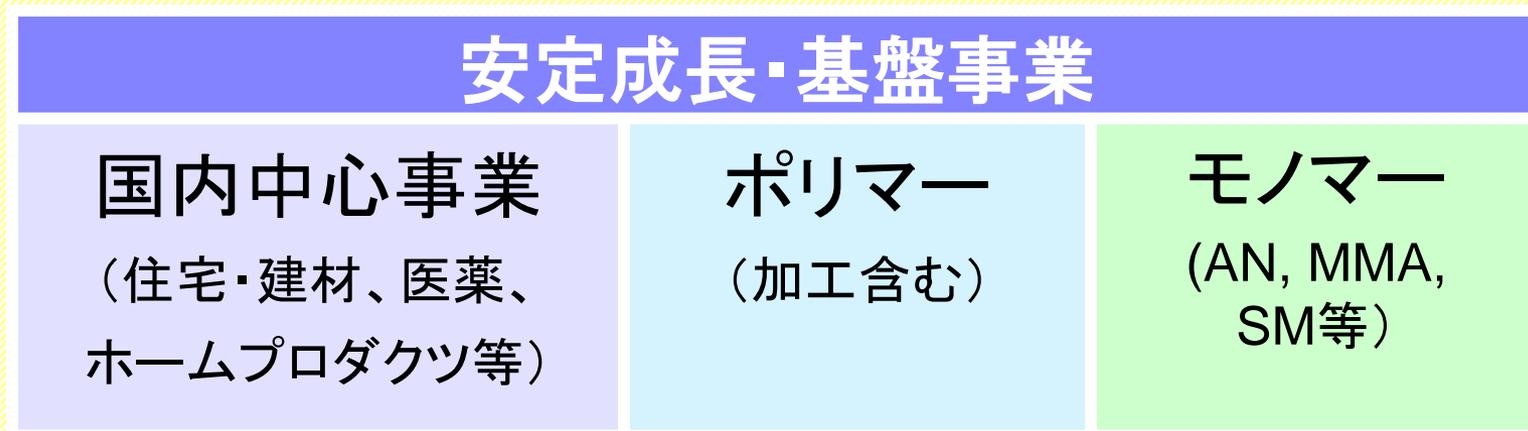
国内型事業の
高度化

Growth Action – 2010 のコンセプト

目指す事業構造



安定した力で成長追求

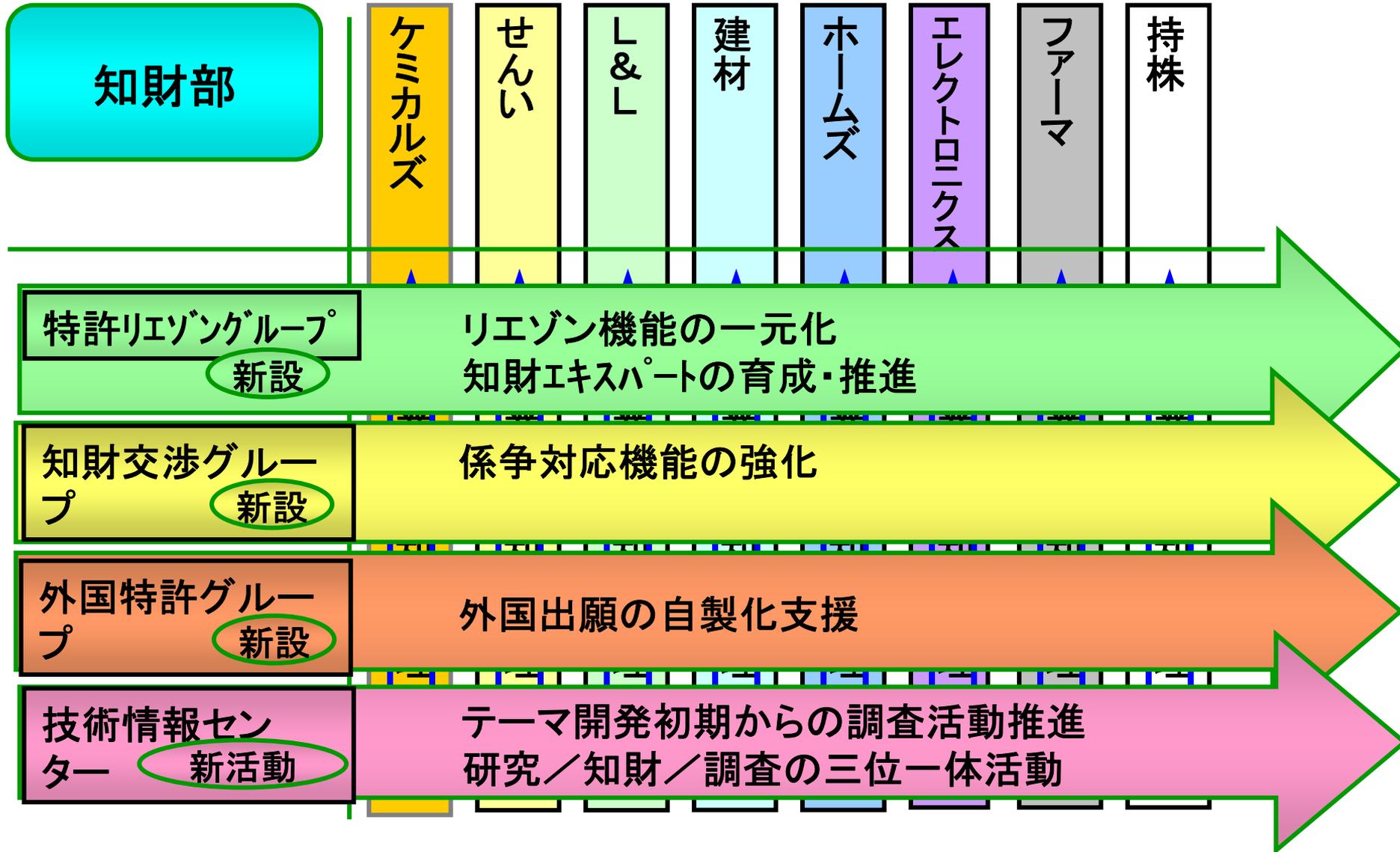


旭化成の目指すべき知財活動

- * 幅広い事業領域をカバー
(選び抜かれた多角化)
- * グローバルに優位な技術の獲得
- * 国内型事業の高度化

- 新規事業の創出拡大をサポート
- 求心力と遠心力のバランスを取った活動

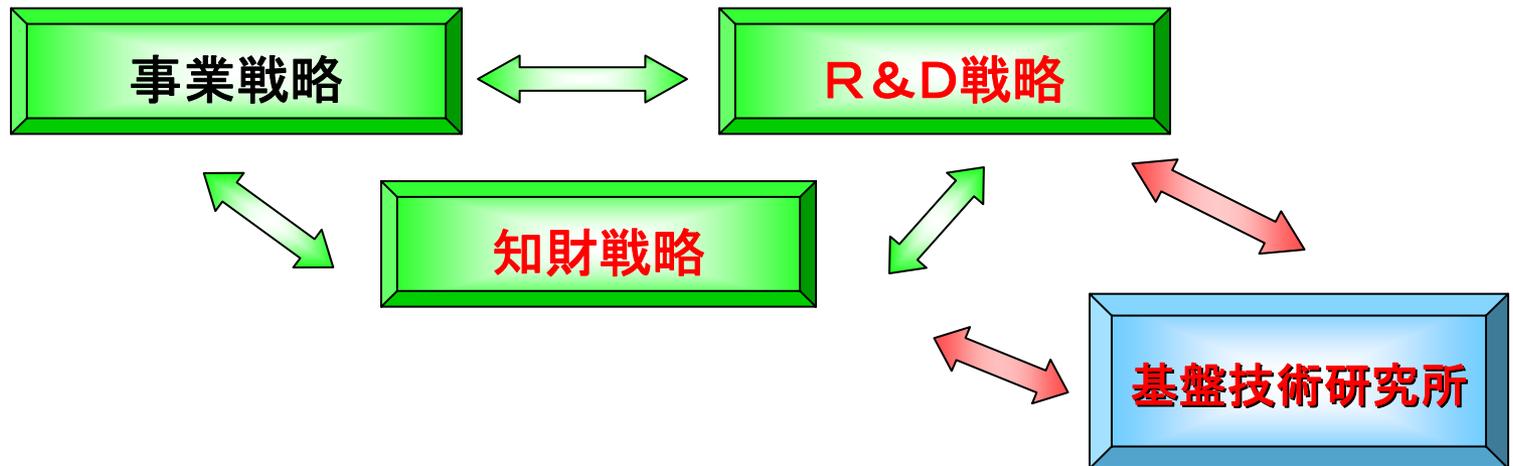
旭化成グループ知財管理新体制(2004/12 ~)



知的財産・基盤研究の役割

- ◎研究インフラ機能
- ◎戦略機能

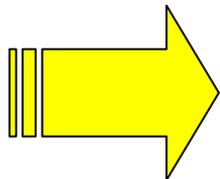
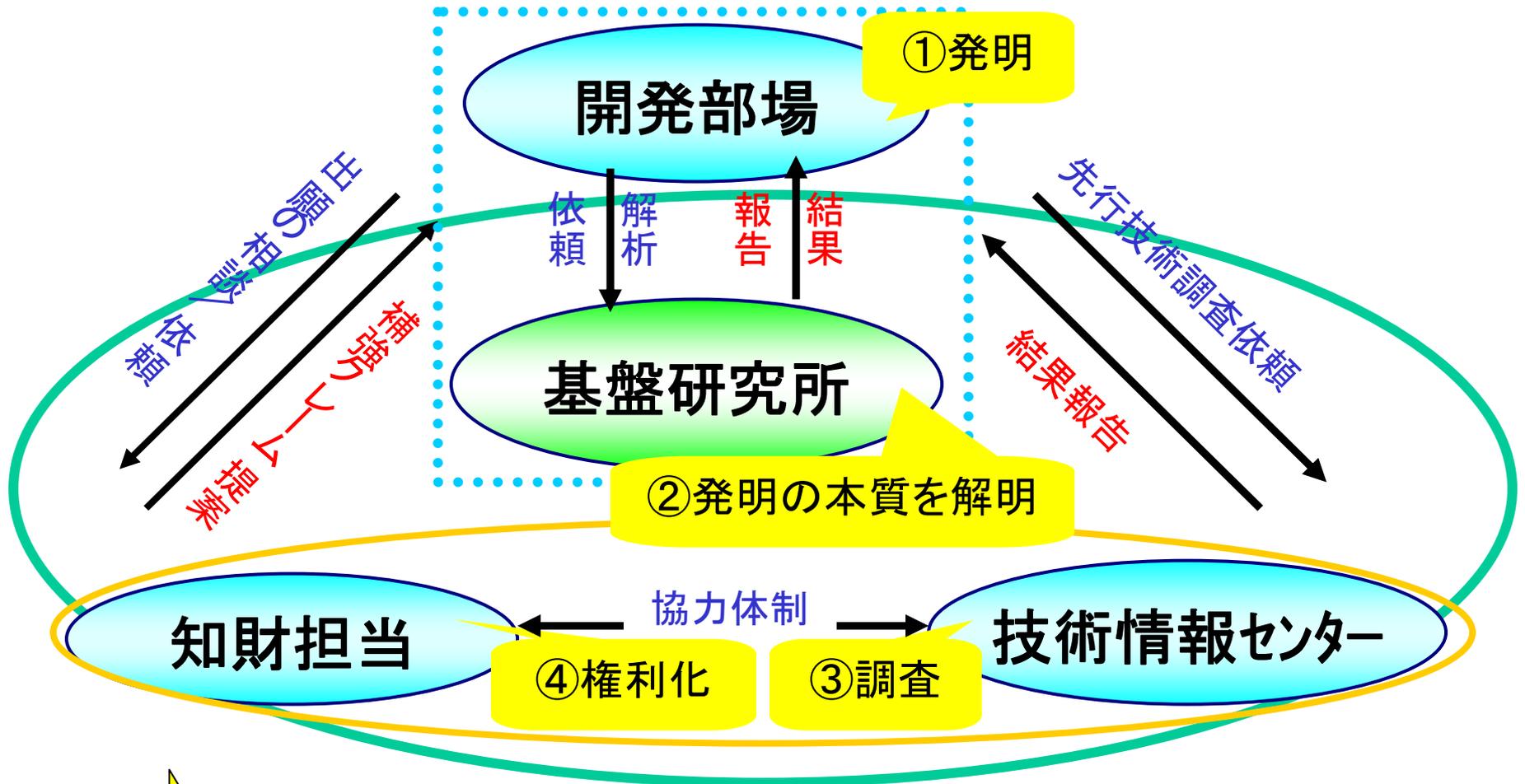
R&Dに対するサービス提供
知財から戦略をリード



- ・ 知価産業型へのシフト
- ・ 国際競争の激化
- ・ 情報のボーダーレス化
- ・ 対中国戦略の重要性

- ・ 権利形成 (パテントポートフォリオ)
- ・ 権利行使 (他社排除)
- ・ 意図せざる技術流出の防止

研究支援・成果権利化のための連携スキーム

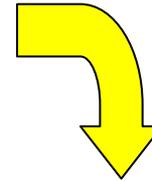


発明を正確に把握(解析)し、的確なクレームで権利化

旭化成が目指すべき知財戦略

■ 自社事業の戦略的位置と知財網の構築

高収益事業群の拡大
顧客価値創出型事業の育成



潜在的新規参入領域のどこを狙うか
知財先導によるR&D活動

■ 最適事業形態に対応した知財戦略

→ 製品の特徴、市場の性格、市場参入時期に対応した知財戦略

Part 2

(省略)